



## MEDICAL OFFICE

医療の最前線からのワンポイントアドバイス

医学部 教授(形成外科学) 貴志和生きしかずお

# 形成外科って?.

傷をきれいに治したい。がんやけがの後の変形を元どおりに戻したい。生まれつきの見た目の異常を正常な状態に治したい。今よりもさらに美しくなりたい。そんなお悩みに対応しているのが形成外科です。

形成外科って判りづらい科です。英語で言うとPlastic surgery。Plasticは、いわゆるプラスチックで、形を自在に変えられるという意味です。今から約60年前、日本にPlastic surgeryの学会を作ろうと、当時いろいろな科の中でPlastic surgeryを行っていた面々が集まって、投票して「形成外科」という呼称に決めました。今では、日本形成外科学会は、会員数約4800名、日本の医療の基盤部分を成す19診療科のひとつとなっています。「形成外科と整形外科はどう違うの?」という質問は、形成外科をしていて一番

よく聞かれますが、語感が似ているのと、また美容外科で美容整形と呼称しているところもあるのでややこしくなっているのかもしれない。

頭の中からつま先まで、外から見ると判る変形や欠損を正常な状態に、あるいはさらに美しい状態に、主に手術を用いて持つてゆく、それが形成外科です。

歴史を紐解きますと、紀元前6〜7世紀に、古代インドでは鼻削ぎの刑というものがあり、それに対して形成外科でもよく用いられている「前額皮弁」という方法で、額の皮膚を使って鼻の形を作る手術が行われていました。

形成外科では、皮膚だけではなく、顔や頭の骨の変形や、顔の骨折も治しています。また、乳がんで乳房がなくなった患者さんに、自分の脂肪や筋肉を移動させたり、人工のシリコンを用いたりして、

できるだけ元の乳房の形を再現していきます。口やのど付近にできた悪性腫瘍の切除を行った後に、食べ物を食べられるように再建するのも形成外科です。悪性腫瘍やけがは、体のどこにできるか判りません。それぞれの欠損に対応しなければならぬため、形成外科医は、体全体の解剖を熟知している必要があります。

さらに、形成外科医は、傷跡をできるだけ目立たなくするような手術を行っています。このような手術を行っている関係上、再生医療への関わりも大きな科です。培養表皮や脂肪幹細胞移植など、これまでも臨床応用されているものは多々あります。

外見上で何かお悩みの方、傷をきれいに、早く治したいという方は、ぜひ形成外科にご相談ください。